

日本社会情報学会 (JSIS) ニュース

第36号 2009. 11. 2

- I 2009 年度第 14 回研究大会が開催されました
- II 2010 年度の理事、監事、役員が選出され、承認されました
- III 企画委員会 若手研究者支援班報告
- IV 和雑誌編集委員会よりお願い
- V 若手とシニア等、会員を支援するための諸規定の改正について
- VI 会員状況及び会計報告 (事務局)
- VII 2008 年度決算(案)および会計監査について
- VIII 2010 年度予算(案)について
- IX 会費納入のお願い (事務局)
- X 第 55 回日本社会情報学会 (JSIS) 理事会議事録
- X I 2009 年度日本社会情報学会 (JSIS) 第 15 回総会議事録 (案)

I 2009 年度第 14 回研究大会が開催されました

9 月 12 日 (土) ~13 日 (日)、新潟大学にて、第 14 回研究大会が開催されました。参加者等の内訳は以下の通りです。

参加者数合計 207 名 (JSIS & JASI 会員参加者数 141 名、一般参加者数 66 名)

【会員参加者内訳】

JSIS 会員参加者 76 名 (一般 61 名、学生 15 名)

JASI 会員参加者 55 名 (一般 38 名、学生 17 名)

両学会所属会員参加者 10 名 (一般 8 名、学生 2 名)

【一般参加者内訳】

有料一般参加者 28 名 (一般 15 名、学生 13 名)

無料一般参加者 21 名 (特別講演、フィールド情報学セミナー)

招待者 17 名 (特別講演等の非会員登壇者、広告出稿企業、等)

II 2010 年度の理事、監事、役員が選出され、承認されました

先の理事選出選挙結果に基づき、新理事 (候補) による投票が行われ、会長、副会長 (2 名) が選出されました。またその結果が総会にて承認されました。新役員と理事、監事は以下の通りです。

会長 伊藤 守

副会長 遠藤 薫

副会長 安田 孝美

理事 (五十音順)

伊藤賢一、大國充彦、岡田安功、北村順生、栗川隆宏、柴田邦臣、西垣 通、橋元良明、藤井史朗、正村俊之、守弘仁志、吉田純

監事 (五十音順) 音 好宏、横井茂樹

Ⅲ 企画委員会 若手研究者支援班報告

企画委員会では、若手研究者支援企画として、公募&実践型ワークショップ第三弾を、新潟大学での合同研究大会内で開催いたしました。

今回のテーマは、「蓄積・再編・駆使する／される情報アーカイブ、集合知、クラウドコンピューティング」でした。社会情報学に関心がある若手研究者の多数は、大なり小なりアーカイブやデータベースのような「情報が再集約され利用される仕組み」に関与しているでしょう。その有用性、社会的意味を問いなおすことは、集合知の時代に生まれ、それを担い、生きていく若手研究者の責務であると思われます。そういった問題意識から、以下のお三方にコメントをお願いいたしました。

・岡本 真先生（『ACADEMIC RESOURCE GUIDE』発行人）

インターネットによる学術情報サイトとして著名な『ACADEMIC RESOURCE GUIDE』を編集・発行。デジタルアーカイブ・ウェブアーカイブなど、ネット社会での知の集積の在り方を問う第一人者としての観点からコメントをお願いしました。

・河井孝仁先生（東海大学文学部広報メディア学科准教授）

地域情報論（地域情報化・eコミュニティ）、行政広報論、NPO 論が専門。研究と実践を架橋する視角からのコメントをお願いしました。

・遠藤 薫先生（学習院大学法学部政治学科教授）

理論社会学・社会情報学・メディアと文化についてが専門。領域を代表する社会学者および経験豊かな研究者としてのコメントをお願いしました。

司会は、竹之内禎先生（東海大学）が担当なさいました。報告に応募し、指定報告者として発表されたのは、以下のお三方でした。

・石内鉄平先生（茨城大学 ベンチャービジネスラボラトリー）

パークマネジメントにおける群衆知を用いた情報共有システムの開発

・増本貴士先生（関西大学 総合情報学部）

アーカイブス化される放送番組の著作権マネジメント～NHK アーカイブスを参考にして

・松本早野香先生（明治大学 大学院理工学研究科）

コンテンツの蓄積と活用のための地域サイトユーザーによる情報の活用 に立脚した Web サイトの設計—

石内報告は行政の観点も視野に入れた情報活用、増本報告はコンテンツのアーカイブ、松本報告は地域情報と、一口に情報集積・活用といっても多様な形態がありますが、共通する論点が多々浮かび上がりました。特に、利用者にとって意味がある情報と実際に集積される情報とのギャップが、3つの報告から立体的に浮かび上がった点は、興味深いものでした。また議論の中で「こういった情報化による改善を、どのように社会のエンジンと

して埋め込むかこそが、社会情報学に求められている」という意見があったように、単なる若手WSを超えて、社会情報学の現代社会における位置づけまで、射程に入れた深みのある議論が展開できました。

セットで恒例化している懇親会は、前日の夜に開催されましたが、予定を大幅に上回る方々が参加していただき、白熱した忘れがたい新潟の夜となりました。企画委員会における若手支援として日程化されていた企画は、今回の第三弾をもって一応の終了をみましたが、以上のように、きわめて意義深いものであったと感じております。

ご参加・ご協力くださった皆さまにあらためて御礼申し上げます。さらなる若手研究者支援の充実に祈念いたします。（北村順生）

IV 和雑誌編集委員会よりお願い

前の学会ニュースでもお知らせした通り、『社会情報学研究』の投稿原稿書式（ワード形式）を学会ホームページ上で公開することになりました。第14巻2号以降では、投稿者のみなさまは学会ホームページから所定の書式をダウンロードしていただき、図表を含めてこれにしたがって作成した原稿ファイルを提出してください。何らかの理由により所定の書式では原稿を作成できない場合は、あらかじめ「口座・和雑誌受領担当」事務までその旨を連絡してください。

V 若手とシニア等、会員を支援するための諸規定の改正について

総会において、非常勤職にある会員や定年退職後の会員の会費減額、また留学期間中の会費免除についての下記提案が承認されました。

1 改正の趣旨

大学院修士課程（大学院修士課程に相当する課程を含む。以下、同じ。）を修了したが未就職の正会員及び大学院博士課程を修了又は退学したが未就職の正会員の経済的負担を軽減して研究の機会を増やし、学会の裾野を拡大する。

また、会員の留学期間中の会費を減免できるようにする。その一方で、大学を定年退職又は早期退職された会員及び企業等を退職された会員の経済的負担を軽減することにより、大学等の退職後も会員として引き続き学会の活性化に貢献していただく。

以上の措置を通じて、会員を増やして学会の財政基盤を拡大し併せて学会の活動を活性化する。

2 改正の概要

- (1) 大学院修士課程を修了したが未就職の正会員の会費を学生会員と同じ金額にする。
- (2) 大学院博士課程を修了又は退学したが未就職の立会員の会費を学生会員と同じ金額にする。
- (3) 大学女は企業を定年退職又は早期退職した正会員の会費を学生会員と同じ金額にする。
- (4) 20年以上正会員であった看で65歳以上に達した者に対する会費の減免又は後納の制度を廃止する。
- (5) 留学期間が1年以内であっても休会を認め、会費を減免できるようにする。

VI 会員状況及び会計報告（事務局）

(1) 会員状況

・ **会員数（2009.9.6 現在） 428名（一般287名、学生141名）**

参考（2008.9.11 現在） 466名（一般327名、学生139名）

→2009.3.31段階で、会費5年以上長期滞納者49名（一般24名、学生25名）に対し休退会措置（現名簿より削除・別保存）をとったため。

・ **2008年度入会者数35名（一般15名、学生20名）**

・ **2008年度退会者数16名（一般12名、学生4名）**

・ **2009年度入会者数（9.6 現在）28名（一般12名、学生16名）**

参考（2008.9.11 現在）23名（一般8名、学生15名）

・ **2009年度退会者数（9.6 現在）6名（一般2名、学生4名）**

(2) 会費納入状況

・ **2009年度分納入率（2009.9.6 現在）59%** 参考（2008.9.11 現在 2008年度分納入率）33.5%

・ **2008年度分納入率（2009.9.9 現在）78%** 参考（2008.9.11 現在 2007年度分納入率）70.0%

参考（2007.9 現在 2006年度分納入率） 35.1%

2) 2009年度会費執行状況について

2009年度会計経過報告			
支出	2009年度予算案	090907経過	備考
大会運営費	400,000		
学会誌発行費	850,000	316180	第13巻2号印刷費、封筒代、発送費
会誌編集委員会運営経費	300,000	192788	英文校正費含む
研究委員会運営経費	250,000	108390	研究委員会旅費・昼食
学会賞(含選考経費)	150,000	1512	額縁
会費引落手数料	50,000	10860	
理事会運営費	650,000	207000	
理事選出選挙経費	100,000	5225	返信用封筒後納料金
人件費	350,000	297420	会計事務委託料、アルバイト代(名簿作成も含む)
通信費	150,000	102590	
消耗品費	200,000	37244	
名簿作成費	300,000	49350	上質紙・表紙用紙、製本用ホッチキス
予備費	350,000		
合計	4,100,000	1328559	

☆人件費には、名簿作成作業も含まれる。

VII 2008年度決算(案)および会計監査について

2008年度(2009年3月31日現在)会計報告						
収入	2008年度予算案	2008年度実績	支出	2008予算	2008年度実績	備考
会費	3,100,000	3,138,919	大会運営費	400,000	404,909	
	$320 \times 0.85 \times 1 \div 270$					
	$139 \times 0.6 \times 0.5 \div 41$					
繰越金	1,000,000	1,000,000	学会誌発行費	850,000	973,307	13巻1号印刷費
			会誌編集委員会運営経費	300,000	403,220	英文誌編集運営費
			研究委員会運営経費	250,000	259,131	
			学会賞(含選考経費)	150,000	50,000	
			会費引落手数料	50,000	22,280	3/4引落完了
			理事会運営費	650,000	528,650	
			理事選出選挙経費	0		
			人件費	350,000	224,530	発送作業、講師謝金
			通信費	200,000	132,130	第13巻1号郵送費
			消耗品費	200,000	77,400	
			名簿作成費	0	0	
			予備費	300,000	0	未使用
			計	3,700,000	3,075,557	

☆2008年度日本社会情報学会(JSIS)監査報告書

- 2008年度会計に関する領収書、預金通帳などは全て揃っており、支出記録も整理され、合致している。適正な収支が行われていると判断する。
- 2008年度の収入は、予算に対して38,919円の会費収入増となっており、かつ、予備費未使用のため、実額収支で63,362円の黒字となっている。2008年度後半よりの会計事務担当の分離と継続性の確保、会費請求の徹底と長期未納会員の整理、事務経費節約などが奏功していると思われる。例えば会費納入状況は、昨年度よりの公費支出承認の効果もあり、かなり改善された昨年度と比べても、2008年度会費の納入率78%(2009.9.6現在)と、8ポイント増加している。しかし、新入会員からの確実な会費請求や長期未納会員への適切な働きかけなど、さらなる工夫の必要もある。
- 2008年度の支出については、個別に次の点を確認したい。
 - 学会誌発行費は、JASIとの合同の英文誌発行費の分担、和雑誌2冊分の印刷費・発送費などやや予算を上回っているが、予算を現実に合わせる必要がある。
 - 会誌編集委員会運営経費も予算を上回った。これは、2007年度の当該支出がかなり予算以下であり、必要な活動が2008年度に回ったためと思われる。
 - 研究委員会運営経費はほぼ予算通りの支出となっている。

- 4) 学会賞は、対象者が一名であったため、予算の3分の1となった。
- 5) 会費引き落としは、3月に一度実施したが、予算の半分以下となっている。
- 6) 理事会運営費は、4回の実施にも関わらず予算を下回っているが、7月、3月の出席者がやや少なかったことが関係している。
- 7) 人件費は、2008年度後期よりお願いした会計事務委託謝金およびニュース発送等に関わる学生アルバイト謝金である。2007年度は支出ゼロであり、「適切な支出」の必要が指摘されていたことに応え、事務局業務の軽減を図った結果でもあるが、予算以下に抑えられている。
- 8) 通信費は、ニュース等郵送費、雑誌郵送費等であるが、2007年度に比べ、会員への会費の督促等は、メールを活用したこともあり、予算の3分の2程度に抑えられた。
- 9) 消耗品費は予算の3分の1程度に抑えられている。
- 10) 予備費は未使用となっている。

4. 以上、2008年度会計においては、①2007年度にも追求された会費収入増加努力の継続とさらなる成果、②事務局業務の合理化・軽減追求のための、外部委託やアルバイト等人件費の適正活用、③メール活用や事務作業の合理化などによる経費節減などの特徴があり、全体として予算よりもかなり少ない額での運営がなされている。

これらの事務局運営の改善は、2007年度監査報告書で指摘されていた事務局業務の外部委託による効率の良い運営、を一部実施したものである。こうした改革はさらに進めることが必要である（ちなみに、2009年度は、会費請求業務や研究誌投稿受付業務の一部外部委託などさらに進めている）。

5. 2007年度会計監査においては、それまでの事務局業務のうちの学会Web管理を「企画委員会」に移行させることが指摘されていた。2008年度は、これが実際に機能し始め、事務局業務の軽減に連なった。また、会員メールアドレスの整備により、9割以上の会員に、通常の学会情報の提供することが可能となり、経費節減に連なった。今後さらに、必要な改革を検討していただきたい。

以上

2009年9月12日

日本社会情報学会監事 加藤晴明 印
日本社会情報学会監事 横井茂樹 印

VIII 2010年度予算(案)について

		2010年度予算案			
収入		支出	2010年度予算案	2009年度予算案	2008年度実績
会費	2,940,000	大会運営費	400,000	400,000	404,909
	$285 \times 0.85 \times 1 \doteq 242$				
	$140 \times 0.75 \times 0.5 \doteq 52$				
繰越金	1,060,000	学会誌発行費	950,000	850,000	973,307
		会誌編集委員会運営経費	400,000	300,000	403,220
		研究委員会運営経費	250,000	250,000	260,000
		学会賞(含選考経費)	100,000	150,000	50,000
		会費引落手数料	23,000	50,000	22,280
		理事会運営費	600,000	650,000	528,650
		理事選出選挙経費	0	100,000	
		人件費	350,000	350,000	224,530
		通信費	140,000	150,000	132,130
		消耗品費	100,000	200,000	77,400
		名簿作成費	0	300,000	0
		予備費	687,000	350,000	0
		合計	4,000,000	4,100,000	3,076,426

IX 会費納入のお願い(事務局)

会費納入率は、11月2日現在、2009年度63%、2008年度79%になっております。毎度のお願いで恐縮ですが、未納者の方には請求書と振替用紙を同封いたしましたので、納入をお願いいたします。特に新入会員の皆様はよろしくお願ひいたします。

X 第55回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録

日時：2009年9月12日（土）10：20～10：50 & 12：20～12：45

場所：新潟大学 総合教育研究棟 D棟 D303

出席者：黒須俊夫（会長）、遠藤 薫（副会長）、伊藤守（次期理事）、今田寛典、北村順生、柴田邦臣、橋元良明、守弘仁志、森谷 健、吉井博明、吉田純、岡田安功（総括理事）、横井茂樹（監事）、加藤晴彦（監事）、藤井史朗（事務局長）

【報告事項】

1. 第54回理事会以降の活動について

イ. 和雑誌編集委員会

橋元編集委員長より、14巻1号の編集状況について、21本の投稿論文（原著論文18本、研究3本）のうち、査読結果が揃ったものが16本である旨、別紙にて報告された。

ロ. 洋雑誌編集委員会

今田編集委員長より、第2巻がまもなく印刷されること、第3巻の投稿締め切りが10月31日であることの報告があった。

ハ. 研究委員会

企画委員会と併せ、柴田委員より、若手研究者支援ワークショップが、3月に名古屋大学で開かれ、第3回が、9月13日に新潟大で開かれる旨報告された。

ニ. 企画委員会

同上。

2. 会員状況および会費納入状況について

藤井事務局長より、9月6日現在の会員状況と会費納入状況について別紙にて報告された。2009年度会費納入率は59%、2008年度納入率は78%である。

3. その他

岡田総括理事より、Web記事に古いものがそのまま載っていることについての修正依頼があった。

【審議事項】

1. 第53回理事会議事録（案）の承認について（別紙参照）

表記の件について承認された。

2. 第54回理事会議事録（案）の承認について（別紙参照）

表記の件について承認された。

3. 入・退会の承認について（口頭）

前理事会以降の入退会者について承認された。

4. 2009年度学術奨励賞について（口頭）

吉井選考委員長より、今回は該当者がいない旨報告された。

5. 2008年度決算（案）および監査報告について（別紙参照）

藤井事務局長より、2008年度決算について説明され、加藤監事より監査報告がされ、承認された。

6. 2010年度予算（案）について（別紙参照）

藤井事務局長より、別紙にて2010年度予算案について説明され、承認された。

7. 第14回総会議事録（案）について（別紙参照；総会資料）

岡田総括理事より、第14回総会議事録案について説明され、承認された。

8. 次回理事会の開催日程について

次回理事会を12月5日（土）13時30分より、東京大学情報学環にて行うことが確認された。

X I 2009 年度日本社会情報学会 (JSIS) 第 15 回総会議事録 (案)

日時：2009 年 9 月 12 日 (土) 12:50～13:30

場所：新潟大学総合教育研究棟 B 棟 B355

◎総会の成立

岡田総括理事より、出席者 36 名・委任状 144 名 (合計 180 名) であり、定足数 (114 名) を上回っており、総会が成立したことの確認があった。

◎会長挨拶

黒須会長より挨拶があった。

◎議長選出

黒須会長より、岡田総括理事を議長に選出したい旨提案があり、選出された。

◎総会議題

【報告事項】

1) 一般会務報告 (第 52 回～55 回理事会、会員・会費納入状況)

岡田総括理事及び藤井事務局長より、標記の件につき、報告があった。

2) 2009 年度会計執行状況について

藤井事務局長より、2009 年度会計執行状況について別紙にて報告された。

3) 会員名簿について

藤井事務局長より、2009 年度会員名簿を簡易印刷にて発行・郵送した旨報告された。

4) 学会誌編集委員会 (和雑誌編集委員会、洋雑誌編集委員会)

橋元和雑誌編集委員長より、14 巻 1 号の編集状況について、21 本の投稿論文 (原著論文 18 本、研究 3 本) のうち、査読結果が揃ったものが 16 本である旨報告された。

今田洋雑誌編集委員長より、第 2 巻がまもなく印刷されること、第 3 巻の応募締め切りが 9 月末であるが応募者が少ないので応募を求めたいとの報告があった。

5) 企画委員会

柴田研究委員より、若手研究者支援ワークショップが、3 月に名古屋大学で開かれ、第 3 回が、9 月 13 日に新潟大で開かれる旨報告された。

6) 学会賞選考委員会、授賞式

吉井選考委員長より、第 13 巻 1, 2 号の 40 歳以下を対象に選考したが、今回は該当者なしであった旨報告された。

7) 2010 年度第 15 回研究大会について

黒須会長より、来年度大会開催校について打診中である旨報告された。

8) その他

森谷研究委員より、熊本県で合同研究会を開催したところ 70 名の参加があったこと、また北海道で 3 月 13 日にオンラインコミュニティについての研究集会が開かれ 10 数名の参加があったとの報告があった。

【審議事項】

1) 2008 年度第 14 回総会議事録 (案) の承認について

岡田総括理事より、表記について報告され承認された。

2) 2008 年度決算 (案) および会計監査について

藤井事務局長より、2008 年度決算案及び会計監査の概要について報告され、承認された。

3) 2009 年度予算 (案) について

藤井事務局長より、2009 年度予算案について報告され、承認された。

4) 会費長期滞納者に関する扱い

藤井事務局長より、2009 年度も昨年度同様 5 年以上会費滞納者について昨年同様再三督促し、対

応のない場合は名簿から削除する旨報告された。

5) 正規雇用の職にない会員に対する会費の減免措置について

岡田総括理事より、別紙にて、正規雇用の職にない（非常勤教員、定年退職教員等）会員に対し、会費を半額にするとの規約が提案され、承認された。

6) 休会中の会員に対する会費の減免措置について

岡田総括理事より、留学などで休会中の会員の会費を免除するとの規約が提案され、承認された。

7) 名誉会員の推薦について

黒須会長より、阿部圭一会員、前納弘武会員を名誉会員に推薦したい旨報告され、承認された。

8) 2010年4月以降の事務局について

黒須会長より、2010年4月以降の事務局を広島文化学園大学社会情報学部（事務局長、今田寛典会員）が担当する旨報告された。

9) 理事選出投票結果について

笹原恵理事選出委員より、2009年度理事選出開票結果について報告され、承認された。

10) 次期理事の選出について

黒須会長より、理事選挙結果に基づき、次期理事の推薦について提案があり、承認された。

11) 次期監事の選出について

黒須会長より、次期監事について、音好宏会員、横井茂樹会員が推薦され、承認された。

12) 次期会長、副会長の選出について

黒須会長より、新理事による選挙の結果、次期会長に伊藤守理事、副会長に遠藤薫理事、安田孝美理事が選出されたとの報告があった。

日本社会情報学会（JSIS）事務局

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1
静岡大学情報学部 藤井研究室気付
TEL&FAX 053-478-1522（直）
e-mail : s-info@inf.shizuoka.ac.jp
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会（JSIS）振替口座（ゆうちょ振替口座）

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会（JSIS）
会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
- ・e-mail : desk@NPOicom.com